

| | | | | | | |
|---------|--|------|-------|---|-----|---|
| 授業科目名 | 法学政治学演習 | ※選 択 | 開講年次 | 2 | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 専門科目 | | | | | |
| サブタイトル | 世界諸地域の法を、（法系の内に）観る | 担当者 | 柳沢 謙次 | | | |
| 講義概要 | <p>【概要】</p> <p>世界の諸地域では、民族や文化により、異なった様々な法が生じています。それらは法系としても区分出来ますが、法系をキーワードに、いろいろな法を調べてみましょう。</p> <p>【到達目標】</p> <p>宗教・思想・文化により、様々な異なった法の概要を知り理解すること。</p> | | | | | |
| 履修条件 | なし | | | | | |
| 教科書・参考書 | <p>【教科書】</p> <p>千葉正士『世界の法思想入門』講談社</p> <p>【参考書】</p> <p>講義中、適宜、紹介します。</p> | | | | | |
| 授業内容 | <p>キリスト教・ユダヤ教・イスラム教など宗教を背景としての、また、インドや中国などの諸地域に特徴的な、法と法に対する考え方が、種々、異なった様相で観られます。それらを一つ一つ観ていきながら、なぜそのような法と法に対する考え方が出来たのか、を調べていきます。</p> <p>演習当初は、担当者が、各法系の紹介と概説を行います。</p> <p>その後、履修者の各々は、自分が興味関心を抱いた法系等を調べ、それを順次、報告し合います。</p> <p>すなわち、この演習は、履修者の毎回のレポート発表・質疑応答・討議の形式で進められます。担当者の講評も付されます。</p> <p>以上がこの演習の概要です。詳細は、毎年の履修生諸君から、この演習に対しての希望・要望を聞いた上で、相談しながら決めていきます。また、何回目は何を（何月何日には何を）テーマにするか等は、演習開始後に、履修者の相談・協議で定まります。</p> | | | | | |
| 評価方法 | 平常点 | | | | | |
| 評価基準 | <p>上記授業内容について、此れを良く理解し、適切に表現出来た者には「A」を与える。単元の内容に付いての理解や表現に不適切な点がある者は其の程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容に付いての理解自体が不十分な者は其の程度に応じて「D」または「E」とする。</p> | | | | | |
| その他 | <p>なし</p> <p>※Eカリキュラムの学生は選択必修科目</p> | | | | | |